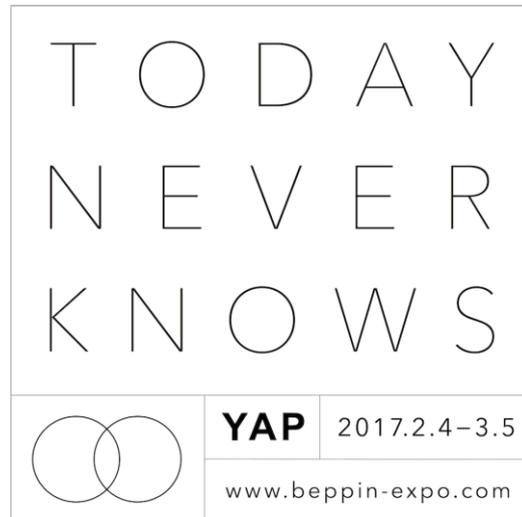


今日どうなるかわからない現代の問いと応えとは何か？
YAP 神戸初上陸 “TODAY NEVER KNOWS” 展
『神戸別品博覧会』会場にて2月4日より開催中

株式会社フェリシモがオフィシャル協賛している『神戸別品博覧会』会場2階ギャラリーでは2月4日より“TODAY NEVER KNOWS”展を開催しています。



“TODAY NEVER KNOWS”
YAP

会期:2017年2月4日-3月5日

時間:11:00~20:00 (最終入場19:30) 入場:無料

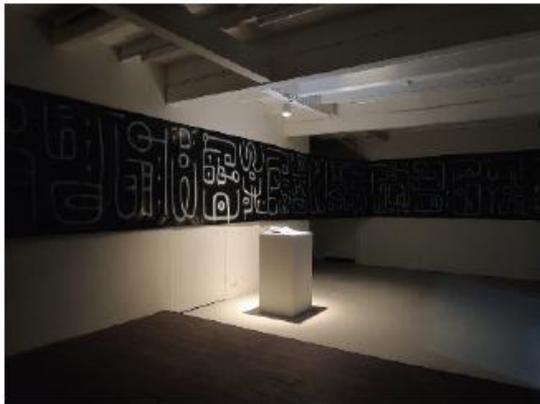
会場:神戸別品博覧会2Fギャラリー (〒650-0021兵庫県神戸市中央区三宮町2丁目11-3)

1966年、音楽グループのザ・ビートルズが”Tomorrow Never Knows”をリリースした。チベット思想に基づく意味深なリリックと、逆再生やタンブーラを用いたサイケデリック・サウンドは当時、「明日どうなるかわからない」時代を生きるためのインスピレーションを、多くの人々に与えた。

あれから50年経った。世界はもはや「今日どうなるかわからない」状態にある。このような21世紀の時代状況は、20世紀の”Tomorrow Never Knows”に対して、”Today Never Knows”と言い換えることができるだろう。では、この”Today Never Knows”という現代における問いと応えはいったいどのようなものだろうか。

今回が神戸初上陸のYAPは、2012年に結成されたアートグループだ。30人を超えるアーティストたちが、大阪、京都、上海、東京、福島、ブダペスト、ベルリン、香港、マンチェスター、ニューヨーク、ローマ、ロンドンなどで活動してきた。もしかすると、これから神戸別品博覧会で待ち構えているアート体験は、いくらか謎に満ちたものになるだろう。そのせいで、あなたを少しだけ惑わせるかもしれない。なぜならそれは、”Today Never Knows”を生きるためのフィジカル・トレーニングであり、目の前の現実を問い直し、再構成するためのラディカル・プラクティスであるからだ。しかし、例えば再び会場を訪れた時、以前と違う何かを見つけたら、それはあなたがすでに”Today Never Knows”という世界で新しい体を使いはじめた証だ。インスピレーションはその先で待っている。

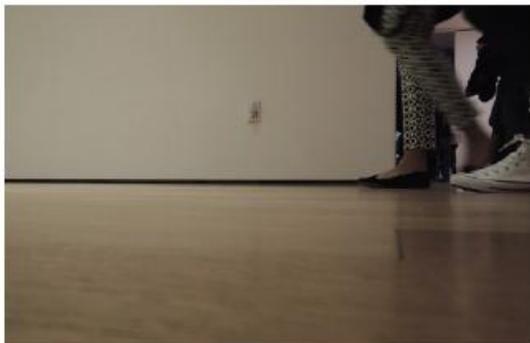
名前 / 作品タイトル / テーマ



Wilfrid Dee / untitled / Slogan



スローガンは、強いメッセージを簡潔に示す政治的な行為だ。解読不能な文字で段幕に書かれているウルフリッド・ディーのスローガンは、何を意味しているのだろうか。



Lynzie Jefferson / Night Light / Public



パブリックはプライベートは異なる。公共性に潜むもう一つの空間を仄めかすリンジー・ジェファーソンの作品は、誰のためのものなのだろうか。



Jian Jin / Slippers / Mistake



間違いはその場を一時停止させる。単純な間違いを取り上げるジャン・ジンは、正しさの正当性を崩そうとしているのだろうか。



Eddy Kleberg / a vision in the dark / Vision



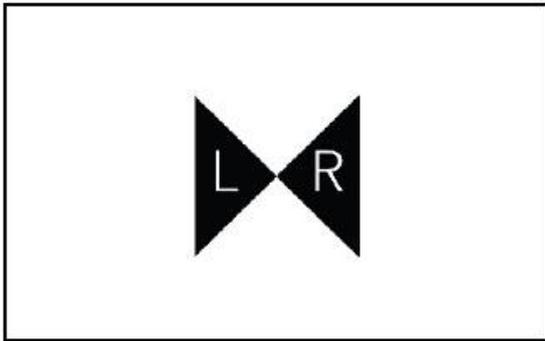
視覚は世界の形を捉える。見ることを問い直すエディー・クレバークの作品は、世界の形を変えようとしているのだろうか。



Yoji Kondo / PARASOL / Media



メディアのほとんどは目で見ることができない。不可視のフィルターに注目するヨージ・コンドーの作品は、どのような物語を伝えているのだろうか。



LR / Vertical Wind / Sound



生物は右耳と左耳で世界の音を聴き、空間を把握する。右と左から聴こえてくるLRのサウンドは、どのような空間の音なのだろうか。



INVISIBLE MUSEUMS / Museum



ミュージアムは物質を保存する。その実態があるのかわからないインビジブル・ミュージアムズは、何を保存しているのだろうか。



Celina Pudlik / Missing Bird George / Extinction



行方不明のポスターは街角で貼られている。絶滅種を世界中で探すセリナ・パドリックは、存在の意味について問うているのだろうか。



Roussel Yeboah / Teleportation / Trace



痕跡は過去へのタイムマシーンだ。ルーセル・イエボアが関心を寄せる痕跡は、いつ、誰の、どこに戻るのだろうか。

本展“TODAY NEVER KNOWS”では、以上9名のアーティストによる作品と、YAPの合同作品が展示されている。“THE GAMES”と題されたその合同作品は、サッカー、野球、テニス、セパタクローなどの球技で使われるボールが台の上に乗っている立体作品だ。ルールや歴史などが違う様々なゲームがひとつのコートに集約されたその状態は、さながら世界そのものようにもみえる。この世界は、多様なゲームが複雑に入り乱れながら回っている。“THE GAMES”は、「今日どうなるかわからない」TODAY NEVER KNOWSな現代を表現しているのではないだろうか。ボールはどこに転がっていくのだろうか。今日はどうなっていくのだろうか。

supported by



BEPPIN EXPO COMMITTEE

special thanks



Mme KIKI



YODOYA

“TODAY NEVER KNOWS”展

開催期間／2017年2/4(土)～3/5(日)

開催場所／『神戸別品博覧会』会場2階

神戸市中央区三宮町2丁目11-3

営業時間／AM11:00～PM8:00(最終入場19:30)

アクセス : JR「元町駅」東改札口から徒歩約5分。

<http://beppin-expo.com/>